



初稿 令和元年 8 月 1 日(木)

関 係 各 位

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構
理事長 河田恵昭

(関西大学 理事/特別任命教授/社会安全研究センター長、京都大名誉教授)

2019年度 大規模災害対策に関する現地調査開催のご案内

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（以下 CDR）活動に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）では、大規模災害のメカニズムやその対策を研究、検討するにあたっては、「現地を見ること、現地の声を聞くこと」が最も重要であるという認識のもと、毎年、全国各地で現地調査を実施してまいりました。

今年度は、我が国同様に大規模地震が頻発している台湾にスポットを当て、地震被害の概要とその対策について現地調査を実施いたします。

大変お忙しいこととは存じますが、多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

参加申込やその他要領につきましては次頁以降をご参照ください。

ご検討の程、よろしくお願い致します。

敬 具

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20

（株）ニュージェック技術開発グループ地震・防災チーム 吉田、（高木）

（TEL）06-6374-4420（つながらない場合は、06-6374-4814（高木））

（FAX）06-6374-5108

E-mail : cdr@newjec.co.jp

<http://e-tsunami.com/>



2019 年度 大規模災害対策に関する現地調査
『台湾における大規模地震災害による被害とその対策に関する現地調査』

実 施 計 画 書

1. 企画内容

(1)開催趣旨

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）では、大規模災害のメカニズムやその対策を研究、検討するにあたっては、「現地を見ること、現地の声聞くこと」が最も重要であるという認識のもと、毎年、全国各地で現地調査を実施してきた。

今年度は、我が国同様に大規模地震が頻発している台湾にスポットを当て、地震被害の概要とその対策について現地調査を実施する。

(2)主催・協力

（主催）特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）

（協力）関西大学社会安全学部社会安全研究センター

（現地協力）台湾成功大学

(3)実施時期、日程：

- ・ 時期：12月6日（金）～9日（月）
- ・ 日程：3泊4日

(4)調査実施場所：台湾

(5)現地調査の内容

台湾は環太平洋火山帯上、フィリピン海プレートの西端の地震活動が活発な地域に位置する。台湾島では、42の活断層が地質学者によって特定されているが、台湾で観測された地震の大部分は、フィリピン海プレートと、島の東のユーラシアプレートの収束によって発生した。

台湾の東方沖は地震活動が活発で、M8クラスの巨大地震もしばしば発生している。しかし、台湾の東海岸には大きな都市が無いこともあって、これまでこのタイプの地震による顕著な被害は記録されていない。一方、島直下の直下型地震では、規模に比して大きな被害が生じている。20世紀には、91回の大規模な地震が観測されており、うち48回では死者が発生している。直近の大地震は1999年9月21日に発生した921大地震（台湾大震災：Mw7.6）で2,415人が死亡した。また、最近でもM6以上の地震が多発しており、今年の4月18日にも台湾東部・花蓮県を震源とするM6.1の地震があった。震源の深さは18.8キロ。同県の一部で震度7を観測し、観光客ら2人が落石により負傷、北部の台北市や新北市内でも落下物に当たるなどして15人が軽傷を負った。

921大地震以降、様々な地震対策が講じられており、その状況を調査することは我が国の地震対策に関する研究、計画検討にも参考になるところが多いと考える。

(6) 協力機関

★企画立案補助・現地対応調整役(現地案内・解説、等)

謝 正倫 (しゃ せいりん) 氏

- ・ 台湾成功大学 水利及海洋工程學系／教授
- ・ 専門分野：流域土砂管理
- ・ 1989年に京都大学防災研究所にて学位取得(当時／芦田和男先生のもとで)

★台湾政府

★国内【旅行会社】

日本旅行 大阪法人営業支店 稲本 成美 氏

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-1 山口玄ビル 6階

TEL : 06-6204-1812 FAX : 06-6204-1764

E-mail : narumi_inamoto@nta.co.jp

(7) 参加募集人数 : 20名程度 (参加資格：特になし)

※(例年の参加者) 防災に関わる大学教員(教授、准教授等)、学生(4回生以上)、研究機関、自治体、ライフライン企業、ゼネコン、建設コンサルタント、鉄鋼橋梁メーカーの担当者

※例年の参加者数：20～30名程度

※事前アンケート結果(2019年6月21日現在)：11名(参加意思あり)

(8) 現地移動手段 : 中型観光バスにて移動

(9) 行程案(調整中)

- ・ 台湾の西側の台南→台中→台北を基本とする。

●12月6日(金)

10:00 関西国際空港 集合
 11:40～14:25 関空→台南空港(チャイナエアライン C1193)
 15:30～16:00 移動
 16:00～17:00 台湾成功大学(調査概要説明会)
 17:00～18:00 移動(宿泊ホテル(台南市内))
 18:00～20:00 懇親会

●12月7日(土)

8:00～10:00 ホテル出発、移動
 10:00～12:00 国立自然科学博物館 921 地震教育公園
 ※921 大地震(台湾大震災(1999、Mw7.6))による被災痕跡調査
 12:00～14:30 移動、途中昼食
 14:30～16:30 石岡ダム、921 地震公園、車籠埔断層
 ※921 大地震(台湾大震災(1999、Mw7.6))による堰堤被災現場調査
 16:30～17:30 移動
 17:30 宿泊ホテル(台中市内)

●12月8日(日)

8:00～10:30 ホテル出発、移動
 10:30～12:30 故宮博物館視察
 12:30～14:00 移動、途中昼食



14:00～17:00 台湾政府講演会「台湾における地震対策について」※
17:30～18:00 移動
18:00 宿泊ホテル（台北市内）

●12月9日(月)

9:00～9:30 ホテル出発、移動
9:30～11:30 中正記念堂・忠烈祠視察
11:30～12:00 移動
12:00～14:00 台湾 101 ビル視察（昼食後、耐震高層ビルの視察）
14:00～15:00 移動
15:00～17:00 台湾桃園国際空港着（搭乗・出国手続き）
17:25～20:50 台湾桃園国際空港→関空（チャイナエアライン C1158）
20:50 解散

※ 台湾政府講演会が9日(月) 9:30～11:30になる場合があります。その場合は、8日午後は別施設（中正記念堂、忠烈祠、等）を視察します。

(10)必要経費

- ・ 一人あたり参加費用（個人負担費用：概算）： 約 14 万円前後
- ※ （上記金額に含まれるもの）往復航空券（関西国際空港⇄台湾、団体料金（10名以上）、各種税金、空港使用料、燃料サーチャージ、団体旅行保険代、宿泊ホテル代（朝食付、1室1名使用）、食事代（昼食3回：2日目～最終日、夕食3回：初日～3日目）、懇親会費（3日分）、高速・駐車場代、施設入場料
- ※ 国内の関西国際空港までの交通費は含まれておりません。各自ご手配くださいますようお願いいたします。なお、手配を希望される方は前述「1.(6)」、後述「3.」に記した日本旅行社／稲本様にご相談ください。
- ※ 貸切バス（中型）と現地ガイド代は CDR 事務局で補助（負担）します。
- ※ （参考）過去5年間の現地調査にかかる個人負担費用（往復交通費含む）
 - ・ H26（沖縄（石垣・那覇））18万
 - ・ H27（愛媛高知）10万
 - ・ H28（三陸）14万
 - ・ H29（熊本長崎）12万

2. 参加申し込み方法

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、事務局まで E-mail もしくは FAX にてお申し込み下さい。

参加申込の一応の〆切は、**9月30日(月) 13:00**とさせていただきます。（なお、定員に達するまで受け付けますので事務局までお問い合わせください。**(最終〆切: 10月31日(木) 12時)**）

【申込先・お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局
〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 ㈱ニュージェック気付 吉田（高木）
(TEL) 06-6374-4420（つながらない場合は、06-6374-4814（高木））
(FAX) 06-6374-5108
E-mail : cdr@newjec.co.jp
<http://www.e-tsunami.com/>

3. その他

- ① 参加費用の請求、徴収、国内外の往復交通手段手配、その他ご希望等に関しましては、お申し込み後直ちに下記、旅行会社から各位にご連絡させていただきますので、旅行会社担当者にご調整ください。

【旅行会社】

日本旅行 大阪法人営業支店 稲本 成美 氏
〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-1 山口玄ビル 6 階
TEL : 06-6204-1812 FAX : 06-6204-1764
E-mail : narumi_inamoto@nta.co.jp

- ② 関空⇄台湾の往復航空券料金を安くするために、10名以上の団体割引を適用したいと考えています。特別な理由がない限り、極力、CDR で予定しております航空機にご搭乗くださいますようお願いいたします。
- ③ 参加申し込み後のキャンセル料は各自ご負担いただくこととなりますので、予めご了承下さい（キャンセル料の詳細については、旅行会社にお問い合わせください）。
- ④ **行程の途中参加、途中離脱も可能です**ので、事務局までご相談ください。なお、団体行動、予定している行程重視をご理解いただき、その方法、合流・離脱場所は各自でご調整、ご手配いただくこととなりますので、予めご了承ください。
- ⑤ 服装については、現地調査ですので、動きやすい服装、靴でご参加いただければ結構です。
- ⑥ この開催案内は、NPO 法人大規模災害対策研究機構（CDR）会員、CDR に情報提供希望のご登録をいただいている諸団体の連絡者、旧・新・東海・東南海・南海地震津波研究会の会員、これまで当 CDR 開催のイベント参加者、の方々にお送りしておりますが、その他関係部署、お知り合いの方々にも広くこのイベント案内をご回覧、ご推薦くださいますようお願いいたします。
- ⑦ 当現地調査に参加しやすい方法につきましてもお気軽に事務局までご相談ください。（理事長名（捺印あり）による現地調査派遣依頼書発行 等）

以 上

2019年度 大規模災害対策に関する現地調査 参加申込書

送付先	特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) 事務局 〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 (株) ニュージェック 技術開発グループ地震・防災チーム 吉田 (高木) (TEL) 06-6374-4420 (or 4814 (高木)) (FAX) 06-6374-5108 (E-mail) cdr@newjec.co.jp		
発信元	発信日	令和元年	月 日
	ふりがな 氏名		
	所属		
	役職		
	住所		
	TEL	FAX	
	E-mail		
①氏名 ②年齢 ③性別 ④所属・役職 ⑤連絡先(住所・TEL・E-mail) ⑥喫煙有無 ⑦現地調査派遣依頼書希望 ⑧途中参加、途中離脱の有無、⑨特記事項・希望(食物アレルギー等、その他)			
(代表者) ①	② 歳	③ <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	④所属: 役職:
⑤連絡先住所:〒			
通常連絡 TEL:			
現地連絡 TEL(携帯:必須):			
⑤E-mail(必須):			
⑥ <input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 吸わない ⑦ <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要 (添付資料をご参考に記載内容の叩きをご提示ください: 様式不問)			
⑧ <input type="checkbox"/> 途中参加、離脱希望 (予定 (具体的に))			
⑨ ()			
①	② 歳	③ <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	④所属: 役職:
⑤連絡先住所:〒			
通常連絡 TEL:			
現地連絡 TEL(携帯:必須):			
⑤E-mail(必須):			
⑥ <input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 吸わない ⑦ <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要 (添付資料をご参考に記載内容を修正してご提示ください: 様式不問)			
⑧ <input type="checkbox"/> 途中参加、離脱希望 (予定 (具体的に))			
⑨ ()			
①	② 歳	③ <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	④所属: 役職:
⑤連絡先住所:〒			
通常連絡 TEL:			
現地連絡 TEL(携帯:必須):			
⑤E-mail(必須):			
⑥ <input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 吸わない ⑦ <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要 (添付資料をご参考に記載内容の叩きをご提示ください: 様式不問)			
⑧ <input type="checkbox"/> 途中参加、離脱希望 (予定 (具体的に))			
⑨ ()			
ご意見・ご要望			

※3名以上参加される場合は本ページをコピーしてご記入ください。

株式会社 ●● 殿
（●●部長 殿）

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構
理事長 河田恵昭 印

（関西大学 理事/特別任命教授/社会安全研究センター長、京都大名誉教授）

2019年度 大規模災害対策に関する現地調査『台湾における大規模地震災害による被害とその対策に関する現地調査』への会員派遣について（依頼）

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（以下 CDR）活動に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、CDR では、標記、現地調査を別添の実施要領で開催致します。

CDR では、大規模災害のメカニズムやその対策を研究、検討するにあたっては、「現地を見ること、現地の声を聞くこと」が最も重要であるという認識のもと、毎年、全国各地で現地調査を実施してまいりました。今年度は、我が国同様に大規模地震が頻発している台湾にスポットを当て、地震被害の概要とその対策について現地調査を実施いたします。

台湾では1999年9月21日に発生した921大地震（台湾大震災：Mw7.6）から20年を迎え、今年台湾国内で様々な震災記念イベントが開催される予定で、本調査では台湾成功大学と関西大学と合同調査として被災地を回り、震災対策の現状を調査するとともに、台湾政府による『台湾における地震対策について』と題した講演会も予定しており、国家レベルでの地震防災対策の現状や計画を学びます。

本調査を開催するにあたり、積極的に地震津波防災対策に取り組まれている貴社に、地元行政や研究機関の情報交換にご参加いただきたいと存じます。加えて、実務レベルでの防災知識や見聞を広げていただき、貴社の実務にお役立ていただけるものと考えております。

つきましては、貴社の下記のご担当者様を本調査に参加させていただきますようお願い申し上げます。

- ・ （所属）●● （役職）●● （氏名）●● 殿
- ・ （所属）●● （役職）●● （氏名）●● 殿

敬具

（お問い合わせ先）

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 榊ニュージェック気付 吉田（高木）

（TEL）06-6374-4420（つながらない場合は、06-6374-4814（高木））

（FAX）06-6374-5108

E-mail : cdr@newjec.co.jp

http://www.e-tsunami.com/